



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヒラノテクシード

コード番号 6245 URL <http://www.hirano-tec.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 岡田薫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 安居宗則

TEL 0745-57-0681

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日

平成28年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	6,285	0.2	501	94.4	506	66.9	349	78.0
28年3月期第2四半期	6,271	△11.5	258	△38.7	303	△33.5	196	△39.6

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 348百万円 (133.0%) 28年3月期第2四半期 149百万円 (△63.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	23.22	—
28年3月期第2四半期	13.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	31,863	21,137	66.3
28年3月期	29,759	20,969	70.5

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 21,137百万円 28年3月期 20,969百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00
29年3月期	—	12.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月期中間配当金の内訳 普通配当 6円00銭 記念配当 2円00銭 (創立80周年記念)

平成28年3月期期末配当金の内訳 普通配当 8円00銭 特別配当 4円00銭

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	9.1	1,995	2.3	2,000	△1.7	1,550	16.5	103.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	15,394,379 株	28年3月期	15,394,379 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	350,396 株	28年3月期	350,396 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	15,043,983 株	28年3月期2Q	15,044,323 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、上記業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の2ページから3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
5. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資において足踏み状態が続き、弱さがみられるなかにおいても企業収益は緩やかな回復基調となっております。また、個人消費につきましても、雇用環境の改善の後押しもあり比較的改善傾向で推移しました。

海外におきましては、米国では雇用の安定や所得環境の改善より景気は緩やかな回復基調となりました。また、欧州で英国のEU離脱問題による経済不安で先行き不透明感もありましたが、内需に支えられ、景気は緩やかな回復基調となりました。一方、アジアでは中国の経済の成長が鈍化傾向で推移し不透明な状況が続きました。

このような状況のもと当社グループは、徹底した品質管理のもと価値ある技術を創出し続けるとともに、新しい提案や短納期への要望にもお応えするため、「生産性の更なる向上」をスローガンに構造改革を押し進めてまいりました。

受注につきましては、依然、企業の設備投資に対する姿勢に慎重さが続いている環境ではありますが、当社グループは独自技術を多岐にわたる市場に対して積極的に提案してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,285百万円(前年同期比0.2%増)となり、利益面では営業利益は501百万円(前年同期比94.4%増)、経常利益は506百万円(前年同期比66.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は349百万円(前年同期比78.0%増)となりました。

受注残高につきましては、電気・電子部材関連及びエネルギー関連分野を中心に大きく躍進し、17,818百万円(前期末比37.1%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(塗工機関連機器)

当セグメントは、光学機能性フィルム製造装置を中心に推移いたしました。

その結果、売上高は3,840百万円(前年同期比6.2%増)となりました。また、セグメント利益は524百万円(前年同期比32.5%増)となりました。

受注残高につきましては、7,526百万円(前期末比28.6%増)となりました。

(化工機関連機器)

当セグメントは、電気・電子部材向け成膜装置を中心に低調に推移いたしました。

その結果、売上高は1,824百万円(前年同期比16.5%減)となりました。また、セグメント利益は277百万円(前年同期比78.8%増)となりました。

受注残高につきましては、9,407百万円(前期末比40.5%増)となりました。

(その他)

当セグメントは、染色整理機械装置、各種機器の部品の製造及び修理・改造等を行っております。

売上高は620百万円(前年同期比31.6%増)となりました。また、セグメント利益は120百万円(前年同期比15.0%増)となりました。

受注残高につきましては、884百万円(前期末比96.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べ2,289百万円増加し、25,649百万円となりました。その主な要因は、有価証券が859百万円、たな卸資産が2,436百万円それぞれ増加したこと、及び売上債権が1,184百万円減少したことによります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ185百万円減少し、6,213百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産が70百万円、投資その他の資産が125百万円それぞれ減少したことによります。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べ1,869百万円増加し、9,515百万円となりました。その主な要因は、仕入債務が1,152百万円、前受金が1,491百万円それぞれ増加したこと、及び未払法人税等が526百万円減少したことによります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ65百万円増加し、1,210百万円となりました。その主な要因は、長期借入金が158百万円増加したこと、及び役員退職慰労引当金が83百万円、退職給付に係る負債が19百万円それぞれ減少したことによります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ167百万円増加し、21,137百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を349百万円計上したこと、前連結会計年度に係る期末配当金を180百万円支払ったことによります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは1,032百万円(前年同期は1,736百万円の収入)となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益が514百万円になったこと、売上債権が2,675百万円減少したこと、仕入債務が1,085百万円増加したことによります。また、主な減少要因はたな卸資産が2,455百万円増加したこと、法人税の支払額が655百万円あったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用されたキャッシュ・フローは258百万円(前年同期は2,609百万円の支出)となりました。主な増加要因は、定期預金の払戻による収入が201百万円あったこと、有価証券の売却による収入が2,141百万円あったこと、投資有価証券の売却による収入が212百万円あったことによります。また、主な減少要因は定期預金の預入による支出が301百万円あったこと、有価証券の取得による支出が2,299百万円あったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって得られたキャッシュ・フローは46百万円(前年同期は25百万円の収入)となりました。主な増加要因は、短期借入金が50百万円増加したこと、長期借入れによる収入が450百万円あったことによります。また、主な減少要因は長期借入金の返済による支出が271百万円あったこと、配当金の支払額が180百万円あったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月10日に公表しました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成28年11月4日に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、当社が販売する塗工機関連機器及び化工機関連機器等は受注生産であり、顧客の指定納期や発注時期も様々であります。よって各四半期において売上高及び受注高が同水準とならない場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)
法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。
この結果、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

(4) 追加情報
(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)
「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,759,315	10,972,038
受取手形及び売掛金	5,836,894	4,545,139
電子記録債権	—	107,698
有価証券	3,540,897	4,399,933
仕掛品	2,601,475	5,040,886
原材料及び貯蔵品	80,697	77,396
その他	543,039	508,626
貸倒引当金	△2,479	△2,213
流動資産合計	23,359,840	25,649,507
固定資産		
有形固定資産	3,310,542	3,239,615
無形固定資産	99,633	110,685
投資その他の資産		
投資有価証券	2,509,746	2,338,802
その他	479,920	524,871
投資その他の資産合計	2,989,667	2,863,673
固定資産合計	6,399,842	6,213,973
資産合計	29,759,683	31,863,481

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,031,139	3,646,903
電子記録債務	—	1,537,158
短期借入金	—	50,000
1年内返済予定の長期借入金	461,928	482,568
未払法人税等	673,629	146,800
前受金	1,483,869	2,974,906
賞与引当金	179,490	183,638
製品保証引当金	64,676	43,010
その他	750,777	450,490
流動負債合計	7,645,509	9,515,476
固定負債		
長期借入金	333,956	492,002
役員退職慰労引当金	160,390	76,834
退職給付に係る負債	625,959	606,523
資産除去債務	14,306	14,450
その他	10,058	20,755
固定負債合計	1,144,670	1,210,565
負債合計	8,790,180	10,726,041
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,847,821	1,847,821
資本剰余金	1,339,722	1,339,722
利益剰余金	18,147,415	18,316,203
自己株式	△407,599	△407,599
株主資本合計	20,927,360	21,096,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	317,337	300,886
退職給付に係る調整累計額	△275,194	△259,594
その他の包括利益累計額合計	42,142	41,291
純資産合計	20,969,502	21,137,439
負債純資産合計	29,759,683	31,863,481

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	6,271,785	6,285,440
売上原価	5,224,825	4,952,338
売上総利益	1,046,959	1,333,101
販売費及び一般管理費	788,899	831,333
営業利益	258,059	501,768
営業外収益		
受取利息	5,830	6,063
受取配当金	21,714	23,905
為替差益	1,673	—
その他	24,188	16,184
営業外収益合計	53,406	46,154
営業外費用		
支払利息	5,723	3,739
売上割引	1,683	1,845
支払補償費	—	20,500
その他	648	15,456
営業外費用合計	8,055	41,541
経常利益	303,410	506,381
特別利益		
投資有価証券売却益	—	7,820
特別利益合計	—	7,820
税金等調整前四半期純利益	303,410	514,201
法人税、住民税及び事業税	122,081	130,914
法人税等調整額	△14,862	33,971
法人税等合計	107,218	164,886
四半期純利益	196,192	349,315
親会社株主に帰属する四半期純利益	196,192	349,315

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	196,192	349,315
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44,980	△16,450
退職給付に係る調整額	△1,677	15,600
その他の包括利益合計	△46,658	△850
四半期包括利益	149,534	348,464
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	149,534	348,464
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	303,410	514,201
減価償却費	159,130	148,356
長期前払費用償却額	5,778	4,499
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,587	4,148
貸倒引当金の増減額(△は減少)	128	△266
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△20,922	△83,556
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△4,739	△21,666
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△33,086	1,094
受取利息及び受取配当金	△27,545	△29,969
支払利息	5,723	3,739
固定資産除却損	85	529
売上債権の増減額(△は増加)	1,449,124	2,675,094
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,094,274	△2,455,960
仕入債務の増減額(△は減少)	1,700,682	1,085,295
未払金の増減額(△は減少)	△28,450	△218,829
未払費用の増減額(△は減少)	6,380	△9,076
未収消費税等の増減額(△は増加)	86,581	76,817
未払消費税等の増減額(△は減少)	△104,153	△18,453
その他	△7,576	△19,036
小計	1,392,690	1,656,960
利息及び配当金の受取額	27,208	29,889
利息の支払額	△5,723	△3,739
法人税等の支払額	△108,624	△655,250
法人税等の還付額	431,184	4,567
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,736,735	1,032,427
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△661,000	△301,000
定期預金の払戻による収入	1,000	201,000
有価証券の取得による支出	△2,203,579	△2,299,920
有価証券の売却による収入	500,000	2,141,000
有形固定資産の取得による支出	△26,516	△64,853
有形固定資産の売却による収入	81	877
無形固定資産の取得による支出	△18,187	△32,973
投資有価証券の取得による支出	△154,485	△63,168
投資有価証券の売却による収入	56,304	212,848
その他	△102,768	△51,862
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,609,153	△258,052

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50,000	50,000
長期借入れによる収入	320,000	450,000
長期借入金の返済による支出	△268,034	△271,314
自己株式の取得による支出	△187	—
配当金の支払額	△75,480	△180,394
その他	△1,101	△2,150
財務活動によるキャッシュ・フロー	25,196	46,141
現金及び現金同等物に係る換算差額	957	△7,756
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△846,264	812,759
現金及び現金同等物の期首残高	9,521,138	12,220,213
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,674,873	13,032,973

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

5. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
塗工機関連機器	3,112,169	+0.8
化工機関連機器	1,433,503	△20.9
その他	406,665	+24.9
合計	4,952,338	△5.2

(注) 1. 金額は生産原価で、上記の内には外注生産によるものも含んでおります。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注状況

当第2四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前期末比(%)
塗工機関連機器	5,511,865	+10.0	7,526,754	+28.6
化工機関連機器	4,537,875	+60.7	9,407,100	+40.5
その他	1,054,843	+57.2	884,650	+96.3
合計	11,104,584	+30.6	17,818,504	+37.1

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
塗工機関連機器	3,840,131	+6.2
化工機関連機器	1,824,455	△16.5
その他	620,853	+31.6
合計	6,285,440	+0.2

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。